

平成 30 年度 第 1 回五霞町総合教育会議次第

日 時 平成 30 年 12 月 18 日(火)

午前 10 時 30 分から

場 所 五霞町中央公民館 3 階 青少年研修室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 東・西小学校における教育懇談会の実施結果について

(2) 町立学校あり方の検討について

(3) その他

4 閉 会

平成30年度五霞町教育懇談会 (PTA役員向け)

平成30年11月20日(火)午後6時30分 五霞西小学校
平成30年11月21日(水)午後6時30分 五霞東小学校

五霞町教育委員会

1

本日のスケジュール

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 現状説明
- 4 意見交換
- 5 閉 会

2

はじめに

開催の目的

少子化が進む中で、現在東小学校・西小学校に通学している児童のPTA役員を対象に教育の現状や児童生徒数の推移の説明を行い、その後意見等を伺い、今後の五霞町立学校のあり方を検討していくうえでの参考とします。

1.教育課程について

学習指導要領の改訂に伴い

5

学習指導要領の改訂

- ▶小学校 平成32年度から全面实施
- ▶中学校 平成33年度から全面实施

キーワード

- 「主体的・対話的で深い学び」
- 「道徳教育の充実」
- 「外国語教育の充実」 等

6

主体的・対話的で深い学び

「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善

【主体的な学び】

興味・関心、見通し、振り返り

【対話的な学び】

子ども同士、子どもと教師との対話・協働

【深い学び】

深い理解、考えの形成、問題解決、創造

7

道徳教育の充実

道徳の教科化 「特別の教科道徳」

小学校 平成30年度から

中学校 平成31年度から

【教科化のねらい】

豊かな心の育成、いじめ問題解決

【今までとの大きな違い】

教科書の使用、評価の実施

8

道徳教育の充実

○「五霞町の小中共通重点項目」

- 1 努力・強い意志
- 2 思いやり・感謝
- 3 郷土愛

義務教育9年間で育成

9

外国語教育の充実

小学校3・4年生 外国語活動の実施

小学校5・6年生 外国語科の実施

平成30年度から移行期間 茨城県は平成31年度から先行完全実施

【課題】

○1時間不足する授業時間の確保

○ALTの確保

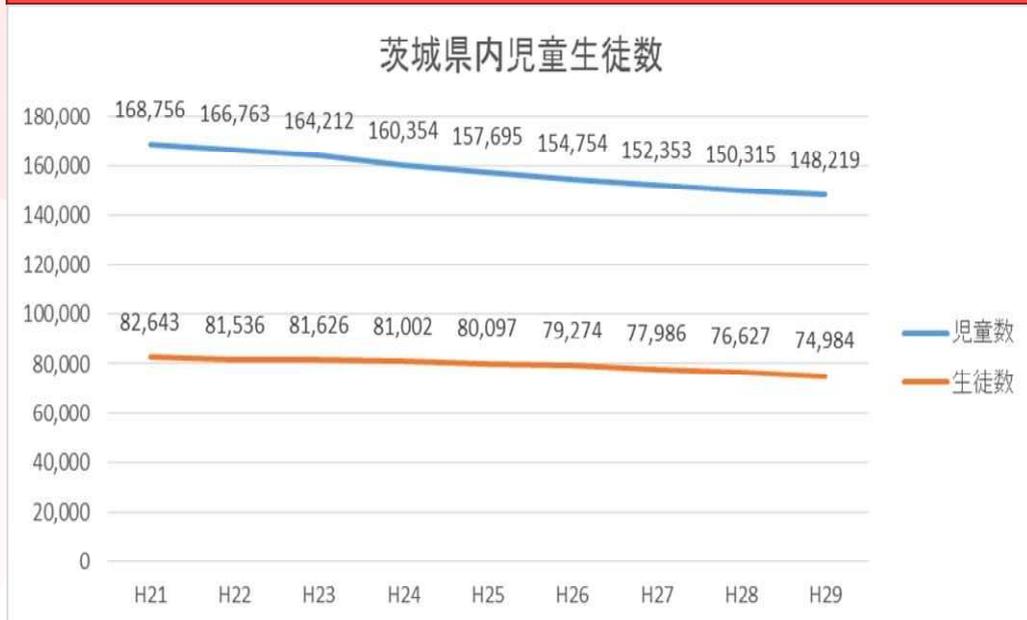
○評価

10

2.小中学校の現状について

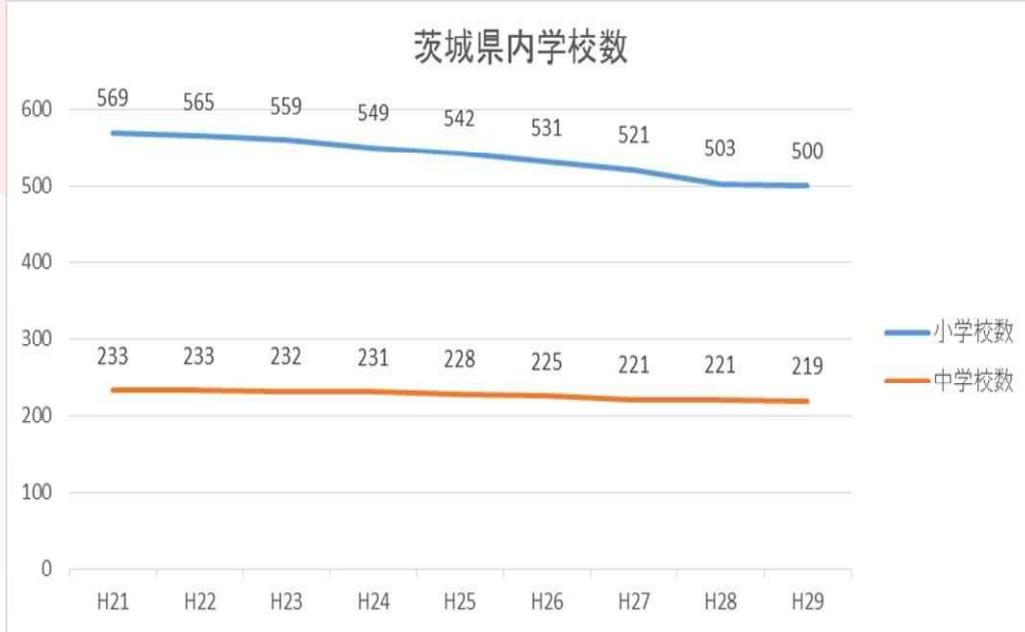
11

茨城県内の児童生徒数



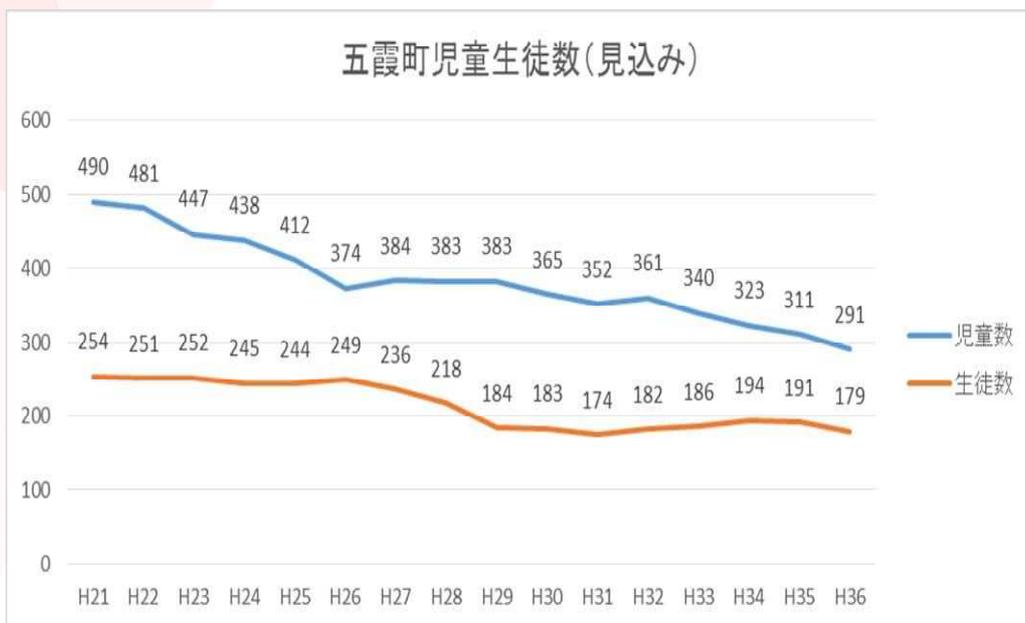
12

茨城県内の学校数



13

五霞町の児童生徒数



14

五霞町新入学児童見込数

(単位:人)

H31(H24生)	H32(H25生)	H33(H26生)	H34(H27生)	H35(H28生)	H36(H29生)
46	71	44	50	47	34

平成30年10月25日現在

15

小中学校の適正規模

- ▶「公立小中学校の適正規模について(指針)」
茨城県教育委員会で基準を設定(平成20年4月策定)

小学校:クラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。

中学校:クラス替えが可能で全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。

16

小規模校のメリット・デメリット

(1) メリット

- ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、きめ細かな指導が行いやすい。
- ・意見や感想を発表できる。
- ・リーダーを務める機会が多くなる。
- ・地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ・家庭や地域の状況などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な指導ができる。

17

(2) デメリット

- ・児童生徒同士で切磋琢磨する機会が少ない。
- ・学校行事等で制約が生まれ、集団行動による教育効果が下がる
- ・人間関係が固定化しやすく、多様な考えに触れることが難しい。
- ・進学等で大きな集団へ所属する際に、適応に困難をきたす可能性がある。

18

今後について

- ▶ 今後の五霞町立学校のあり方について、保護者や地域住民の方の意見等を伺い、検討していきます。

五霞町教育懇談会（PTA役員向け）：意見交換での主な意見

東小：H30.11.21実施（11名参加）

(1) どんな子どもに育てたいですか？

- 優しい子、思いやりのある子、人の気持ちが分かる子、相手のことを考えられる子、自分も大切にできる子。
- あいさつができる子、ありがとうと言える子、謝ることができる子、気持ちのいい返事ができる子。
- 自分の考えと言える子、積極的な子。
- 集団生活の中でたくましく生きられる、助け合いができる子、人の話を聞ける子、周りが見える子。
- 誰とでも仲良くなれる子、偏見をもたない子、素直な子、人を信じて人に信じられる子、協調性のある子。
- あきらめないうで努力する子、何事も一生懸命がんばる子、何事も全力で取り組む子、前向きに考える子。
- 心の強い子、身体も強い子、健康な子。
- 自分の意志で行動できる子、言われなくてもやることをやれる子。
- 選択ができる子。
- うそをつかない子。
- 約束を守れる子。
- 何かを精一杯愛せる子。
- 夢を持てる子、夢（目標）に向かって努力できる子、好きなことが見つけられる子。
- めりはりのある子（遊ぶ・勉強の切替ができる）。
- 運動が好きな子。
- 勉強も普通ならよい。

(2) どのような学校教育を望みますか？

- 子どもが楽しめる授業。
- 勉強に興味をもてるような指導。
- 集団生活ができるようになる教育。
- コミュニケーション能力が身に付く授業を増やしてほしい。
- 個人に合わせた教育、苦手な教科の補習授業をしてほしい。
- 外国語教育の充実、書くだけでなく話せるように、外国人との交流があるといい。
- クラスに外国出身の子がいたら、その子の母国のことや言葉など教える機会があるといい。
- パソコンが使えるようになってほしい。
- 将来について考える授業、職業について教えてほしい（種類、なり方）、将来役立つ力が身に付く授業。

- 道徳教育の充実、心が豊かになるような授業、教科書のみでなくロールプレイなど体感して学べる授業。
- 農業体験等体験のできる授業、様々な体験ができる、社会見学を増やしてほしい、学校でしかできない体験をさせたい。
- 地域との交流の機会を増やしてほしい。
- 学校全体でふれあう場や学べる機会を増やしてほしい、交流給食など違う学年と交流する機会を増やしてほしい。
- 東小と西小の交流の機会があるといい（勉強や運動）。
- 子どもの話をきちんと聞いてもらえる、心のSOSに気付いてもらえる。
- 一人一人を大切にする。
- 少人数でもいいが2クラス以上ほしい、複数学級がいい、少人数クラスがいい。
- 少しきびしいくらいの指導。
- やるべきことをやらせる教育。
- 授業で使う図工の道具や学用品は学校で用意してほしい。
- ズル休みを覚えるので、発熱がないときは早退させないでほしい。
- 埼玉県の学力についていける教育。
- 小学校の統合。
- 通学班や通学路、バスのルートの見直し。

(3) その他意見

- 現在の不登校児童生徒の人数、原因を知りたい。
- ボランティアによる放課後教室をしてほしい。
- 教科書等を学校へ置いていくことを認めてほしい（置き勉）。
- 空き教室の活用方法を考えてほしい。
- 小学校の統合のタイミングはいつか知りたい。
- 女性ネットワークの活動回数を減らしてほしい（移動が大変）。
- 子育てのしやすい環境を作してほしい、子どもだけで遊べる施設を増やしてほしい。
- 街灯が少ない、パトロールを強化してほしい。
- 子どもと先生が1対1で対話できる時間があるといい。
- 東小と西小を統合してもいい。
- 学校周辺道路（特に冬木橋付近）の横断が心配（交通量、大型車の通行が増えそう）。
- 意見交換、ためになった。

五霞町教育懇談会（PTA役員向け）：意見交換での主な意見

西小：H30.11.20実施（17名参加）

(1) どんな子どもに育てたいですか？

- 思いやりのある子、優しい子、人の痛みが分かる子、相手の立場を思いやれる子、人の気持ちが分かる子。
- 助け合える子、友だちと仲良くできる、いじわるしない子。
- 周りのこと一番に考える子、仲間を大切にする子、人間関係を大切にする。
- 感謝の気持ちが持てる子、ありがとう・ごめんなさいがちゃんとと言える子。
- 明るい、心身ともに健康、毎日楽しく過ごせる子。
- 豊かな気持ちを持てる子、好奇心旺盛。
- 視野が広がるような、様々な経験、体験をしてほしい。
- 世界で活躍できるような力を持ってほしい。
- 幸せな子にしたい。
- 自立した子にしたい。
- 自分の考えを相手に伝えられる子、自分の意見を言える。
- 自分で考えて、進んで学習できる子。
- 臨機応変に対応できる。
- いろいろな意味で頭のいい子。
- 常識のある子、上下関係が分かる、敬語が使える、あいさつができる、時間が守れる。
- 話をよく聞く子、人の話をちゃんと聞ける子。
- 目的意識がある子。
- 何事もやり遂げる子。
- 心の強い子。

(2) どのような学校教育を望みますか？

- グローバル化（外国語教育の充実）、英語の授業を全て英語で行ってほしい、英語に特化した教育。
- 中学卒業までに英検2級合格できるくらいの英語力が身に付くようになるとうい。
- パソコン強化（ICT教育をしっかりと）、プログラミングや株式などの専門的な授業。
- スポーツ強化、団体のスポーツに力を入れてほしい、スポーツに特化した教育。
- 転入者が増えるような五霞町特有の学校教育。
- 魅力のある学校（近隣に比べて学力が高い、楽しみな授業や部活がある、町からの手当や支援がある）。
- 個人個人に学習指導。
- 英語と数学の習熟度別授業（クラスを分ける）。

- 分かる子が分からない子に教えてあげる（グループ学習）。
- 人数が少ないので、クラスみんなが分からないと授業が進まない（助け合い）。
- 理解できるまで教えてほしい。
- 中学受験に向けての指導。
- 高校受験の対策、準備を学校でやってほしい。
- 検定などの対策、学校で受験できるようにしてほしい。
- 在宅学習ができる。
- 塾を併設している学校。
- 町内在住の大学生による低料金の塾があるといい。
- 放課後に部活動を充実させてほしい、中学校の部活の種類を増やしてほしい。
- 長期休み、放課後の有効活用（スポーツ、勉強、芸術をする時間にあてる）。
- 小学校高学年（5～6年生）から中学校の部活に参加できるようにしてほしい。
- ものづくりを行う授業。
- ふれあい祭りに東小と西小が合同で参加する。
- 運動会を東小と西小合同で開催する（クラスを2分するのはやめてほしい）。
- 町内のお年寄りとのふれあいの機会をもつ。
- 全学年の全校児童が名前と顔を知れるくらいのふれあいがあるといい。
- 近隣の五霞町以外の学校とも交流する機会を増やす、いろいろな人と関われる環境。
- クラス分けの規定の人数に関係なく、少人数のままクラスを増やす。
- 小学校の統合、近隣との合併等対策してほしい（単学級で少人数では競争心に欠ける）。
- 小中一貫教育。

(3) その他意見

- 中高一貫校があるといい。
- 小中一貫校があるといい。
- 土曜日登校、夏休み登校（プール）。
- 県立高校の推薦入試をやってほしい。
- 姉妹都市（町）があるといい（外国でなくてもいい）。
- 町の環境を整えると人口が増える（仕事、企業誘致、交通の便など）、住みやすい街づくりをしてほしい。
- 学校や町の教育アンケートをクラス（学校）で回収するのはやめてほしい、書きづらい。

教育委員会学校教育グループ分抜粋
・五霞東小学校
・五霞西小学校
・五霞中学校

五霞町公共施設等総合管理計画

個別施設計画（案）

VOL.0.02

平成31年2月

五 霞 町

目次

1. 計画の概要	2
2. 計画の構成	4
A-3. 施設の概要	7
A-4. 個別施設の状態等	10
A-5. 対策内容と実施時期	11
A-6. 対策費用について	12
B-3. 施設の概要	16
B-4. 個別施設の状態等	21
B-5. 対策内容と実施時期	22
B-6. 対策費用について	25
C-3. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	30
C-4. 学校の目指すべき姿	32
C-5. 学校施設の実態	34
C-6. 実施計画について	41
D-3. 施設の概要	44
D-4. 個別施設の状態等	46
D-5. 対策内容と実施時期	46
E-3. 施設の概要	48
E-4. 個別施設の状態等	57
E-5. 対策内容と実施時期	58
E-6. 対策費用について	63
F-3. 施設の概要	67
F-4. 個別施設の状態等	70
F-5. 対策内容と実施時期	71
F-6. 対策費用について	73
7. 全庁的な検討	75

1. 計画の概要

(1) 個別施設計画の目的と位置づけ

全国の地方公共団体では、昭和 30 年代後半から昭和 50 年代の高度経済成長期に、公共施設等が集中的に整備されてきました。これらの公共施設は整備後 40～50 年以上が経過し、建て替えなどの更新時期を一斉に迎えようとしており、その老朽化への対策が大きな課題となっています。

また、少子高齢化の進行に伴い、財政の歳出における扶助費等の社会保障関連費は増加傾向にあり、財政状況が年々厳しさを増している中で、今後は全国的に既存の公共施設等の更新に充当できる財源は減少傾向になると予測されています。

さらに、人口減少、高齢化の進行等による社会・人口構造の変化に伴って、公共施設等の利用需要も変化しつつあります。このような公共施設等を取り巻く現状と将来予測の中で、公共施設等の状況を把握するとともに、適正な供給量や配置を実現することが全国共通の課題となっています。

このような状況を踏まえ、平成 26 年 4 月に総務省は全国の地方公共団体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むよう要請しました。

本町では、これを受けて「五霞町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）を平成 29 年 3 月に策定しました。

また、総合管理計画に基づき、公共施設等全体の修繕・更新等の発生時期を見通したうえで、分野横断的な視点も踏まえながら 4 力年に対応すべき施設を抽出し、財政収支を意識した事業化を図るための実施計画として、五霞町公共施設等総合管理計画アクションプラン（以下、「アクションプラン」という）を平成 29 年 8 月に策定しました。

これらに定められた横断的な方針や目標を、各施設が連携を取りながら実現するために、個別施設ごとの計画を策定します。

(2) 目的

本計画は、町が保有する公共施設等を適正に運営管理し、安心・安全に次世代につなぐことを目的とします。また、対話と協働により、幅広い世代の町民と行政が一体となって町の未来を共に作る計画とします。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は、総合管理計画に整合させ、2019年から2058年までの40年間とします。

計画の実施については、施設老朽化状況の実態を定期点検等で継続的に把握することとし、PDCAサイクルによる計画実施マネジメントシステムを構築します。また、本計画についてはアクションプランでの見直し期間に整合させ、4年ごとに必要に応じて見直すこととします

(4) 取り組みの推進体制

「五霞町公共施設等総合管理計画推進委員会」（以下、推進委員会という）を設置し、長期的かつ総合的な推進を図るために全庁的かつ横断的な組織体制で取り組みます。

アクションプランに基づく個別施設計画の実行は所管課が、進行管理については推進委員会が行います。推進委員会の補助機関として、全庁的に作業及び課題に取り組み、推進委員会の円滑な運営に資するため、庁内各課の室長やグループリーダーからなる「公共施設等総合管理計画推進ワーキングチーム」（以下「ワーキングチーム」という）を設置して取り組みます。

さらに、総合管理計画に関する事項を調査審議するため、第三者からなる五霞町公共施設等総合管理計画有識者委員会（以下、「有識者委員会」という）を設置し、連携を図りながら方向性を決定していきます。

2. 計画の構成

本計画では、町の保有する公共施設について、総合管理計画の際に分類された用途ごとに個別施設計画を整理することとします。分類は次表の通りです。

表 1 個別施設計画策定施設とその分類一覧

1. 行政系施設	消防施設	消防団分団詰所 第一分団詰所
		消防団分団詰所 第二分団詰所
		消防団分団詰所 第三分団詰所
		消防団分団詰所 第四分団詰所
	防災・防犯施設	五霞町地域安全センター（以下「地域安全センター」という。）
2. コミュニティ施設	コミュニティ施設	五霞町中央公民館（以下「中央公民館」という。）
		五霞ふれあいセンター（以下「ふれあいセンター」という。）
		堀之内集会所
3. 教育施設	小学校	五霞町立五霞東小学校（以下「五霞東小学校」という。）
		五霞町立五霞西小学校（以下「五霞西小学校」という。）
	中学校	五霞町立五霞中学校（以下「五霞中学校」という。）
4. 体育施設	体育施設	五霞町 B&G 海洋センター（以下「B&G 海洋センター」という。）
5. 福祉施設	福祉施設	五霞町保健センター（以下「保健センター」という。）・五霞町介護予防センター（以下「介護予防センター」という。）
	児童館	五霞町立ごか西児童館（以下「ごか西児童館」という。）
		五霞町立ごか南児童館（以下「ごか南児童館」という。）
	福祉センター	五霞町福祉センター「ひばりの里」（以下「ひばりの里」という。）
6. 産業施設	産業施設	五霞町多目的集会センター（以下「多目的集会センター」という。）
		道の駅ごか

※ 1. 行政系施設のうち、役場庁舎においては建て替え計画を検討しているため、施設の長期的な維持修繕について計画する本計画では対象としないこととします。

※ 総合管理計画の分類では、表で示した他に「7. 公園施設」がありますが、建築物の規模が小さいため、本計画では対象としないこととします。

※ 道路等のインフラ施設については、所管課において策定を進めています。

表 1 に示した施設分類について、次の章立てにて整理します。

3. 施設の概要
4. 個別施設の状態等
5. 対策内容と実施時期
6. 対策費用

共通事項

劣化度調査の評価

建物の劣化状況を評価する際には、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月文部科学省）」に記載されている、「老朽化状況の把握」を基に行います。

調査は、施設の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」「電気設備」「機械設備」の5部位について、A（概ね良好）～D（早急に対応する必要がある）の4段階に評価し、部位の評価点と部位のコスト配分を考慮した、「施設の健全度」を算出します。この健全度を、施設の優先順位の判断資料として用います。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

（右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例）

	評価	評価点	配分		
1 屋根・屋上	C	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	×	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	×	7.3	= 292
計					3,148
					÷ 60
健全度					52

C. 教育施設

- 五霞東小学校 (教育委員会 学校教育グループ)
- 五霞西小学校 (教育委員会 学校教育グループ)
- 五霞中学校 (教育委員会 学校教育グループ)

C-3. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 策定の背景

町の学校施設は、二つの小学校と一つの中学校があり、町の所有する全公共施設面積の48.0%を占めています。

施設のうち小学校は、校舎と体育館共に築50年を迎えようとしており、老朽化が進んでいます。今後、大規模改修や建替えに多額の費用が必要になることが十分に予想されることから、これらの適正な維持管理、あるいは施設の利用計画について検討を行うことが、他の自治体同様に課題となっています。

また、学校教育環境の形成に深くかかわることから、施設の劣化状況だけでなく、将来の人口見通しや児童生徒数及び学級数の変遷を踏まえた、総合的な検討が求められます。



写真：五霞中学校の全景

(2) 策定の目的

「五霞町公立学校施設長寿命化計画（以下「本計画」とする）は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、豊かな学習環境の長期継続を意識した適正な修繕・改修計画を立案します。

築年数の浅い学校施設においては、適切な維持管理計画を立案、実施することで、建物耐用年数の長寿命化を図り、将来的な町の財政負担の軽減を図ります。

教育環境の質的改善も考慮しながら、計画的な点検を実施し、修繕・改修の優先順位の設定に資するとともに、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として本計画を策定します。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は、五霞町公共施設等総合管理計画に整合させ、2019年から2058年までの40年間とします。

計画の実施については、施設老朽化状況の実態を定期点検等で継続的に把握することとし、PDCAサイクルによる計画実施マネジメントシステムを構築します。また、本計画についてはアクションプランでの見直し期間に整合させ、4年ごとに必要に応じて見直すこととします。

(4) 対象施設

本計画における対象施設を表20に示します。

表20 対象施設一覧

名称		住所	延床面積 (㎡)	建築年度
五霞東小学校	校舎	江川 200	3,557	1971
	体育館		735	1972
五霞西小学校	校舎	元栗橋 1072	3,311	1971
	体育館		792	1973
小学校 計			8,395	-
五霞中学校	校舎	元栗橋 953	5,343	2004
	体育館		1,889	1995
	武道場		901	1988
中学校 計			8,133	-
小中学校 計			16,528	-

※建築年度は施設の主要な棟が建築された年度を示す。

C-4. 学校の目指すべき姿

総合管理計画の内容を踏まえつつ、国や地方公共団体の教育振興基本計画や学習指導要領のほか、各地方公共団体の教育ビジョン等に掲げられた施策を基本として、それらを実現するために学校施設としてどのような機能・性能が必要となるかを検討し、目指すべき姿を示します。

町においては、「豊かな人間性を育てる教育と文化を生み出すまちづくり」を基本目標と定め、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について取り組んでいます。また、総合管理計画では、小規模自治体の強みを生かした教育拠点の更なる充実や、子どもたちが安全で快適な学校生活を送れるような施設整備、緑豊かな学習環境の実現を今後目指していくことを謳っています。

今後の本計画に基づく学校施設の改修整備等において配慮すべき課題を整理するとともに、さらに社会の変化・発展に対応した学校施設の役割強化を図るため、学校施設の目指すべき姿を表 21 のように定めます。

表 21 施設の目指すべき姿

1. 安全で快適な教育拠点の整備
2. 防災機能の向上
3. 教育環境の充実

1. 安全で快適な教育拠点の整備

児童生徒が安心して学習に集中できる環境を整備、または向上させます。町内の学校においては、一般教室へのエアコン導入が済んでいますが、バリアフリーに関しては課題を抱えている状態です。さらに、トイレ環境の改善や屋外教育環境施設の整備などにより、快適な学習環境の実現を求められています。

時代の変遷に伴い、タブレット端末を利用した授業形式の普及など、ICT 技術の導入が一般化されつつあります。町内においては、既に小学校でタブレット端末を用いた授業形式が導入され、Wi-Fi 環境については小中学校ともに完備されています。今後も、時代に合わせた多角的な教育形態の実現を目指します。

2. 防災機能の向上

学校施設は、災害時における地域の避難所として利用することが想定されています。地域の防災拠点として重要な役割を担う中で、先の東日本大震災の教訓を活かし、防災備蓄機能の強化などが求められます。

町の学校施設は、既に防災拠点に必要な耐震性能が備えられていますが、施設の劣化が進行していることから、その性能を過信せずに様々なケースを想定した非常時計画の策定など、より防災機能を向上させるべく検討を進めます。

3. 教育環境の充実

町の教育施設は、小学校2校と中学校1校ですが、少子化に伴い、近年小学校のクラス編成は多クラスを維持できなくなっています。

教育環境という面からみても、同一学年の単クラスは決して優れているとはいえません。また、この状況は数年の内に劇的に改善する見込みもなく、むしろさらに少子化が進む予測となっています。

「五霞町の教育環境」という観点では、現状は課題が多い状況であるといえます。今後は、小規模自治体において教育環境を魅力あるものに形成するため、「教育拠点」を集中的に形成するという考え方があり、総合管理計画においてはこれを推進しています。具体的には、小中一貫校を形成するために、五霞東小学校を五霞西小学校へ統合するという計画です。

教育施設においては、施設の維持管理というハードの部分だけで計画を策定できません。前述のように、教育環境に配慮して町がどのように実現するかを、全庁的に検討する必要があります。

C - 5 . 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

i) 対象施設一覧

本町の学校施設は、小学校2校、中学校1校の合計3校です。

小学校全体の延べ床面積は8,395㎡、中学校全体の延べ床面積は8,133㎡であり、合計した床面積は16,528㎡です。

表 22 対象施設と児童生徒数及び学級数 (2017年5月1日時点)

名称	児童生徒数(人)		学級数	
	通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援
五霞東小学校	220	8	9	3
五霞西小学校	137	19	6	3
小学校 計	357	27	15	6
五霞中学校	163	21	6	5
中学校 計	163	21	6	5
小中学校 計	520	48	21	11

ii) 児童生徒数及び学級数の変化

五霞町の3小中学校における児童生徒数及び学級数の変化について、図に示します。

五霞西小学校では、特別支援学級を除くと1学年あたり1クラスが続いています。五霞東小学校においても、6学年のうち、半分の3学年で1学年あたり1クラスとなっています。

五霞町全体の児童数も減少傾向にあるといえ、2011年から2017年の7年間だけでも児童生徒数の合計は100人以上、割合にして15%程度減少しています。

「五霞町人口ビジョン」においても、今後も町の人口減少が予想されることから、今後の学校のあり方について検討が望まれます。

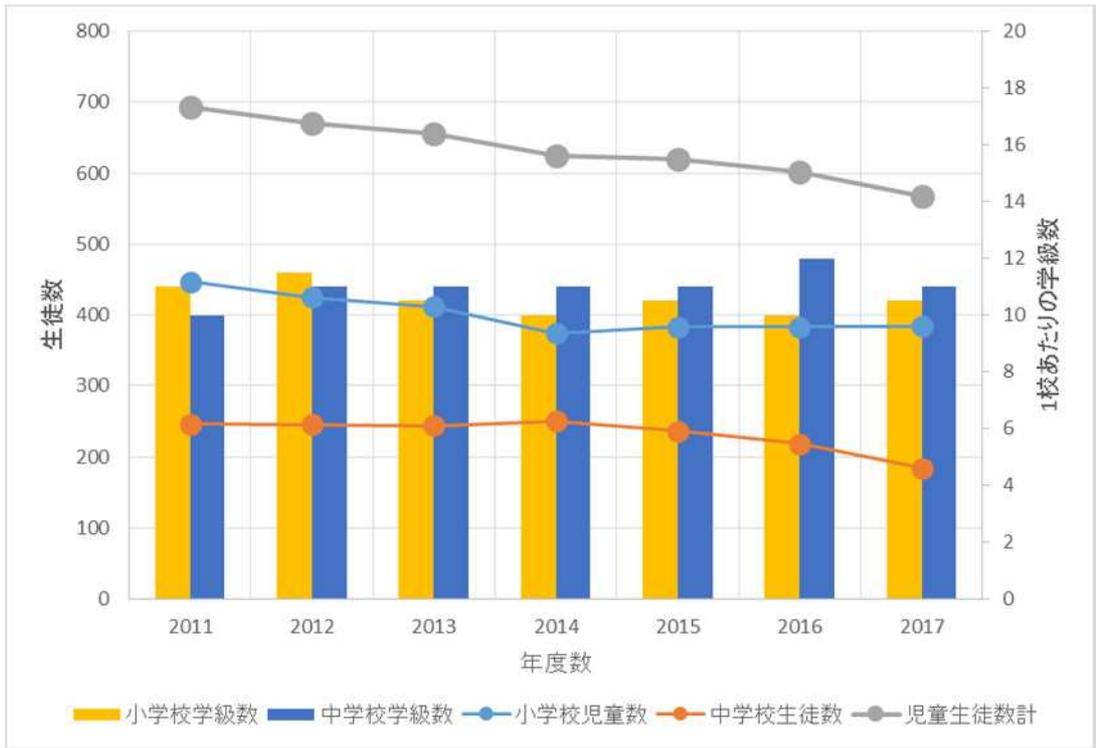
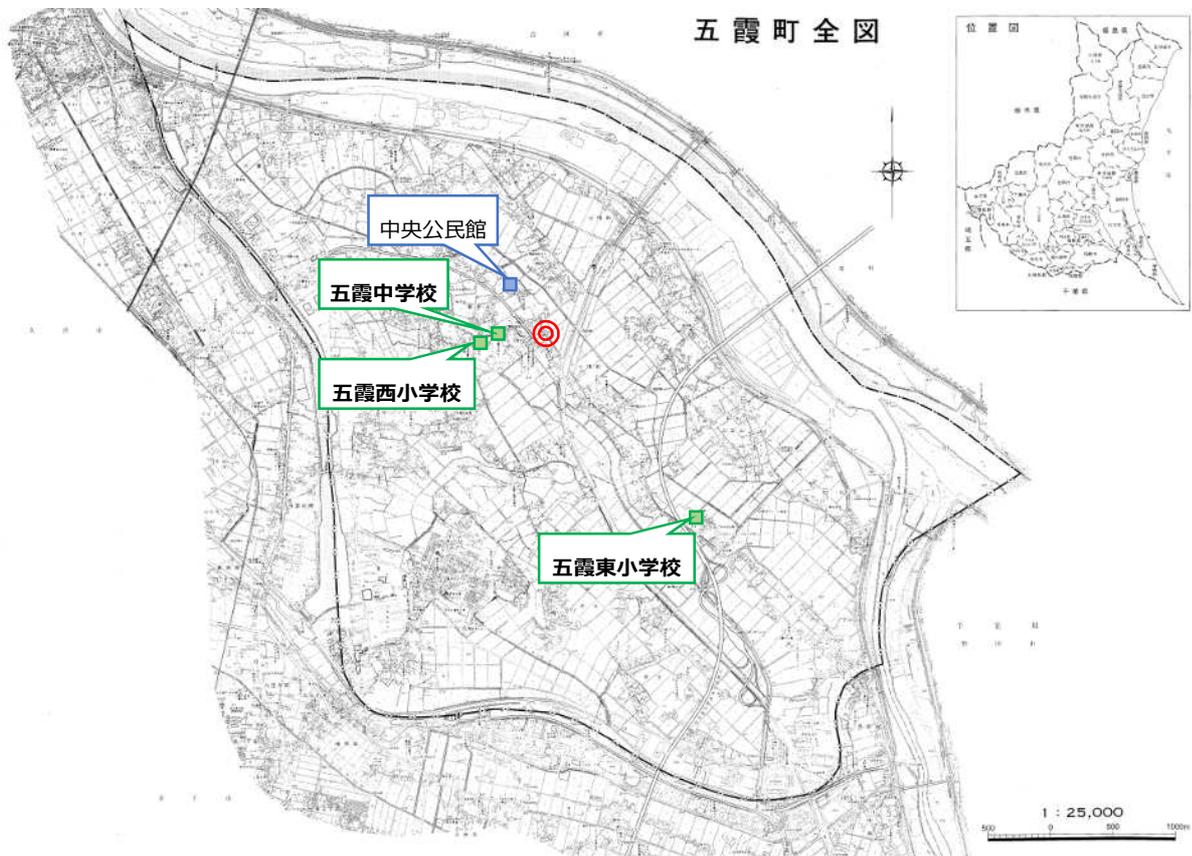


図 4 五霞町の児童生徒数及び学級数の変化 (2017年5月1日時点)

iii) 学校の配置状況



iv) 施設関連経費の推移

直近数年間の施設関連経費の推移を示します。

表 20 直近3カ年度における施設関連経費とその内訳

	2015	2016	2017
維持修繕費	761,635	73,116	691,576
水道光熱費	4,777,433	4,118,405	4,489,560
施設整備費	0	0	61,285,950
施設関連経費	5,539,068	4,191,521	66,467,086
建築事業費	0	0	0
総事業費	5,539,068	4,191,521	66,467,086

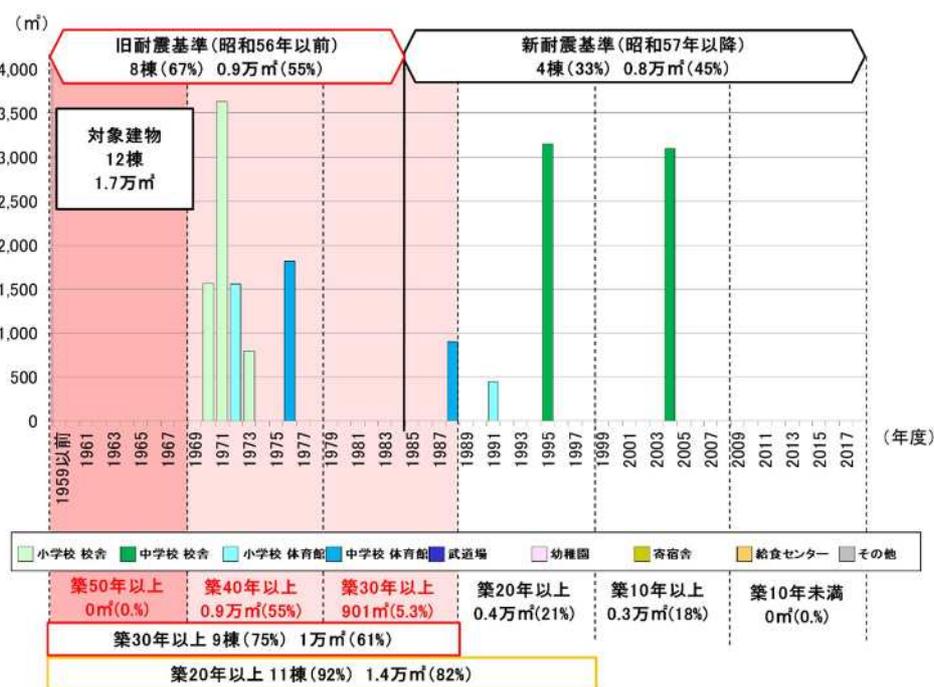
(単位：円)

2015～2017年度の3年間の学校施設の維持修繕費、光熱水費、委託費の合計である施設関連経費は約400万円～6,600万円であり、平均すると約2,500万円/年です。

v) 学校施設の保有量

本計画において対象とする小中学校は、築30年以上の建物が75%にあたる1.0万㎡であり、学校施設の老朽化が進行しています。10年後には、80%以上の面積が老朽化する見込であり、学校施設については長期利用を見据えた修繕や改修を検討することが不可避な状態です。

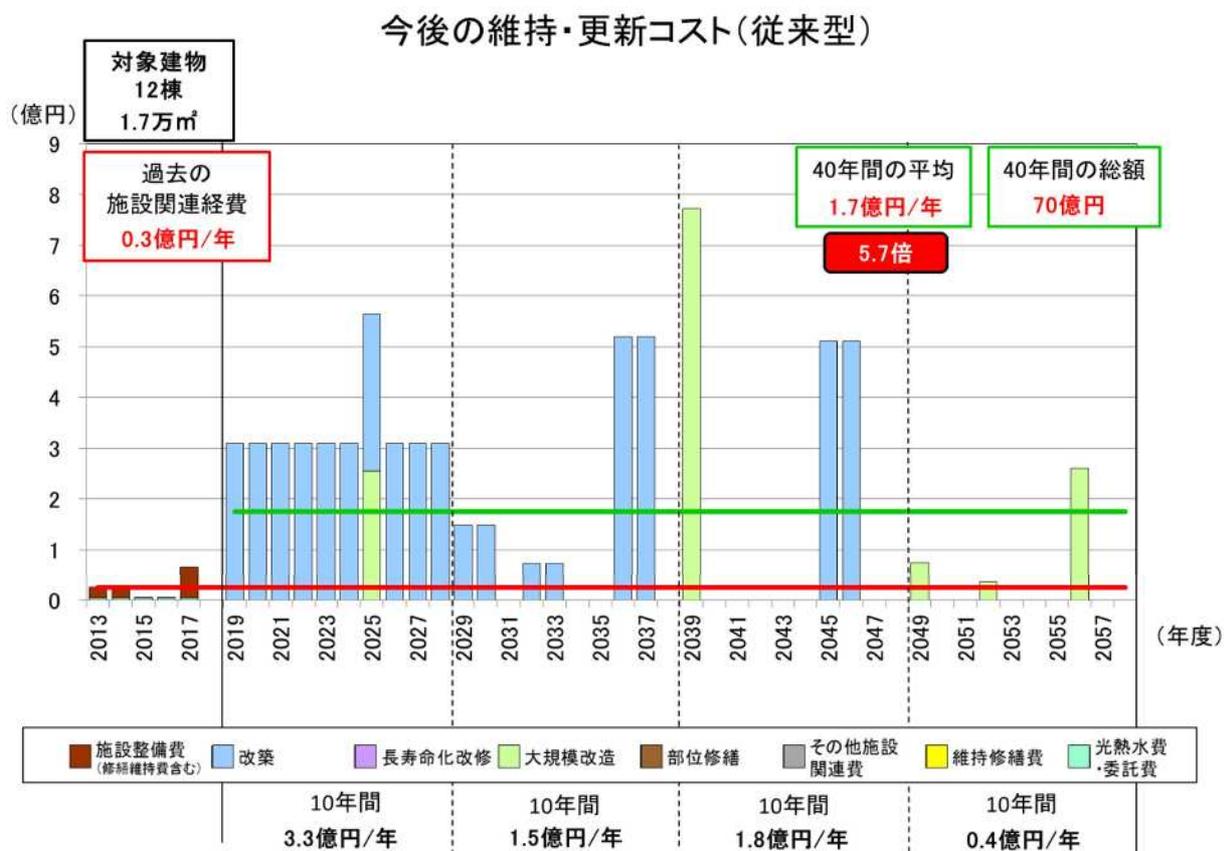
築年別整備状況



vi) 今後の維持・更新コスト（従来型）

40年で建て替える従来の修繕・改修方式を今後も続けた場合、今後40年間のコストは約70億円（1.7億円/年）を要します。平均年間1.7億円とは、直近3年間の施設関連経費の約5.7倍のコストに相当します。

また、2019～2028年の10年間では、改築が集中するため年間約3.3億円の維持・更新コストが掛かります。従来の建替え中心の整備を継続することは、財政的に不可能であると言え、また老朽化も進行していることから、学習環境の安全性が脅かされている状態が放置される危険性があるといえます。



※コスト算定条件は次の通り。

- ・改築（建替え）周期：40年
- ・改築（建替え）コスト：33.0万円/㎡（総務省作成ソフト・公共施設等総合管理計画記載の単価）

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

i) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

実施した劣化状況調査の結果について表 23 に整理します。

小学校においては、両校ともに、防水性能に関する部分で大きな問題を抱えており、この修復には大規模な工事を要する見込みです。築年数はいずれも 40 年を超えており、またこの間大きな改修が行われなかったことを考慮すると、修繕を実施した上で 20 年の使用が限界であるといえます。

中学校においては、建物を長く利用する上で重要な屋根・屋上と外壁について、早急に対応する必要のある D 評価は、五霞中学校柔剣道場の外壁などで確認されました。

表 23 建物劣化情報一覧

建物基本情報							構造躯体の健全性			劣化状況評価					
名称		建築年		築年数	延床面積 (㎡)	構造	耐震安全性			屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
施設	棟	西暦	和暦				基準	診断	補強						
五霞中学校	普通教室棟	2004	H16	14	3094	RC	新	-	-	B	B	B	A	A	81
五霞中学校	特別教室棟	1976	S51	32	1819	RC	旧	済	済	B	C	C	C	C	43
五霞中学校	屋内運動場	1995	H7	23	3151	RC	新	-	-	C	B	B	B	B	72
五霞中学校	柔剣道場	1988	S63	30	901	RC	新	-	-	C	D	C	C	C	31
五霞東小学校	特別管理棟 (A棟)	1971	S46	47	888	RC	旧	済	済	D	D	C	C	C	29
五霞西小学校	普通管理教室棟	1971	S46	47	2288	RC	旧	済	済	D	D	C	C	C	29
五霞西小学校	普通教室棟	1972	S47	46	827	RC	旧	済	済	D	D	C	C	C	29
五霞西小学校	屋内運動場	1973	S48	45	792	RC	旧	済	済	D	D	C	C	C	29
五霞東小学校	普通教室棟 (B棟)	1970	S45	48	1566	S	旧	済	済	D	D	C	C	C	29
五霞東小学校	低学年普通教室棟 (C)	1971	S46	47	453	RC	旧	済	済	D	D	D	C	C	18
五霞東小学校	屋内運動場	1972	S47	45	735	RC	旧	済	済	D	D	C	D	D	21

ii) 今後の維持・更新コストの把握（五霞町プラン）

長寿命化、あるいは複合化による維持修繕費用削減効果を明らかにするため、検討ケースごとの計画期間内における維持修繕費用を算定します。

表 24 検討ケースの概要

検討ケース	ア) 従来	イ) 長寿命化	ウ) 長寿命化+統廃合
概要	建物の統廃合なし 建物寿命は 40 年 実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施すると仮定	建物の統廃合なし 建物寿命は 80 年 長寿命化改修を築 40 年に実施 実施年数より古い建物の長寿命化改修を 10 年以内に実施すると仮定	総合管理計画策定の際に立案した五霞町プランに基づく 小学校の統廃合を前提とし、面積は合計面積の 60%として算定 2022 年に西小学校を修繕し、2032 年度に統廃合建替えを実施する

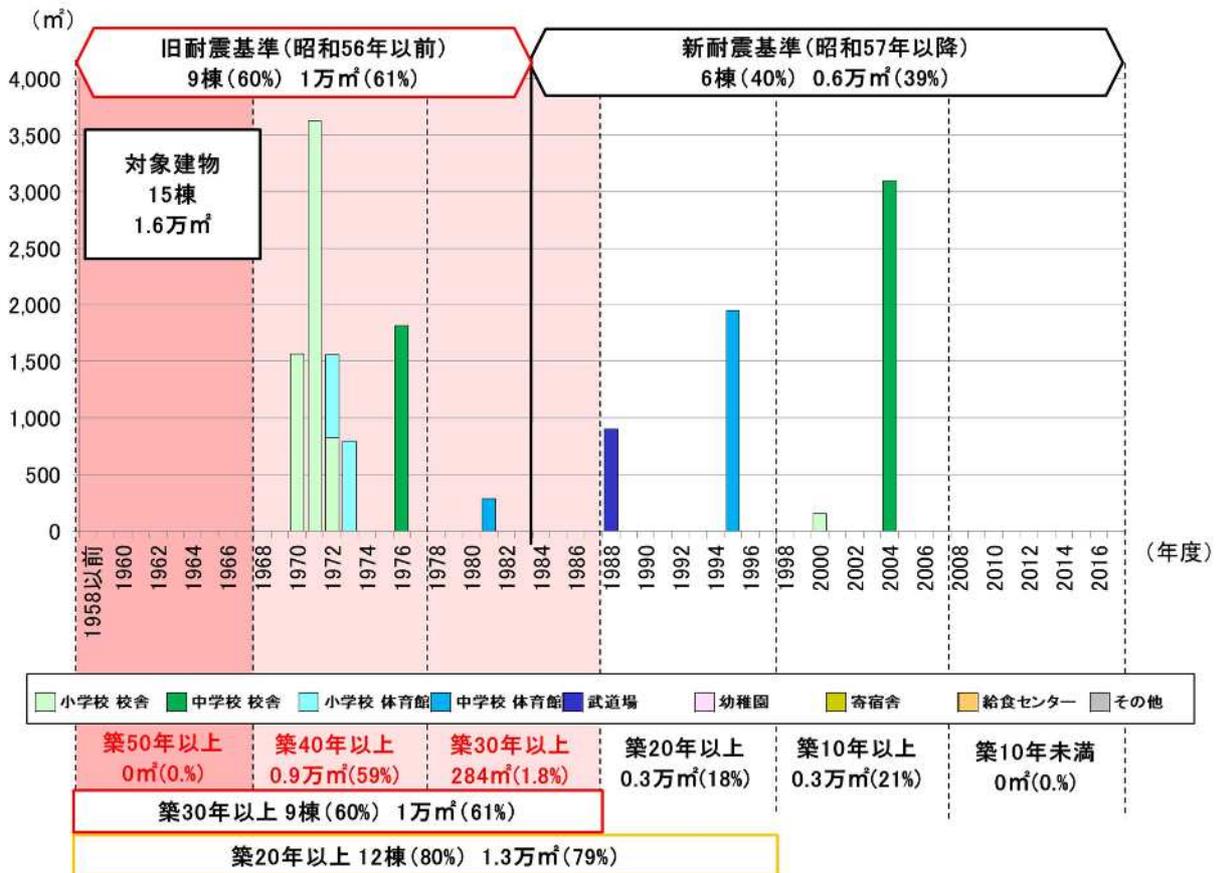


表 23 検討ケース別の維持更新コスト比較

検討ケース	今後の維持更新コスト算定	概要
<p>ア) 従来</p>	<p>対象建物 15棟 1.6万㎡</p> <p>過去の施設関連経費 #DIV/0!</p> <p>40年間の平均 1.6億円/年 #DIV/0!</p> <p>40年間の総額 65億円</p> <p>10年間 3.5億円/年 10年間 0.9億円/年 10年間 1.9億円/年 10年間 0.2億円/年</p>	<p>40年の総額 65億円</p> <p>・両校の建替えによる負担が大きい</p>
<p>イ) 長寿命化</p>	<p>対象建物 15棟 1.6万㎡</p> <p>過去の施設関連経費 #DIV/0!</p> <p>40年間の平均 1.2億円/年 #DIV/0!</p> <p>40年間の総額 46億円</p> <p>10年間 1.5億円/年 10年間 0.6億円/年 10年間 0億円/年 10年間 2.5億円/年</p>	<p>40年の総額 46億円</p> <p>・両校の大規模修繕が必要であり、かつ20年間使い続けられる可能性は高くない</p>
<p>ウ) 五霞町 プラン型</p>	<p>対象建物 15棟 1.6万㎡</p> <p>過去の施設関連経費 #DIV/0!</p> <p>40年間の平均 0.8億円/年 #DIV/0!</p> <p>40年間の総額 31億円</p> <p>10年間 0.4億円/年 10年間 1.9億円/年 10年間 0.5億円/年 10年間 0.3億円/年</p>	<p>40年の総額 31億円</p> <p>・改修を必要最低限とし、また建替え時に統合による面積減少効果がある。</p>

C-6. 実施計画

今後の学校施設の改修等に関する優先順位付けの考え方

ここまで述べてきたように、五霞町にある2つの小学校は、建築から40年以上が経過しており、建物劣化が進行している。また、維持修繕コストの検討において、2校を継続的に維持することは財政上困難であることが明らかになっています。

また、アクションプランに記載されているように、中規模修繕に際して小学校の統廃合に関する検討が求められています。

考えられる統廃合のパターンについて、下表に整理します。

表 25 統廃合パターンに関する検討

	統廃合なし	西小学校へ集約	東小学校へ集約
①パターン	2032年頃に2小学校について建替えを実施	2032年の統合小学校への建替えを見据えた部分的な修繕	2032年の統合小学校への建替えを見据えた部分的な修繕
②教育拠点の整備	△少子化の進行により複数クラスが確保できない	◎中学校と隣接し、一貫校としての整備が期待。体育館の共用やB&Gの利用等が検討できる	△中学校やB&Gから離れており、教育拠点としては環境が不十分か IC付近の交通量増大に伴う交通危険性の増大も
③コスト面	×2施設の建替えによる財政圧迫。床面積も現状維持か。	○修繕を最小限に留め、建替えの際にも面積を縮小して維持管理費を軽減	○修繕を最小限に留め、建替えの際にも面積を縮小して維持管理費を軽減
総合評価	△	◎	○

表 19 に示すように、維持管理費の財政的事情や教育拠点の整備という方針から、西小学校への統合案が優れていると考えられます。従って、西小学校の修繕を優先的に実施します。

西小学校については、建物外皮の防水機能に問題があり、学校用途について悪影響を及ぼす可能性があることから、これを修繕する計画とする。表 20 に直近4年間での計画イメージを示します。

表 26 直近4年間の修繕計画イメージ

項目/年度	2017	2018	2019	2020
建物外皮の防水補修(西小)		●	●	●
統廃合の検討		●	●	●

表 26 の詳細イメージ:

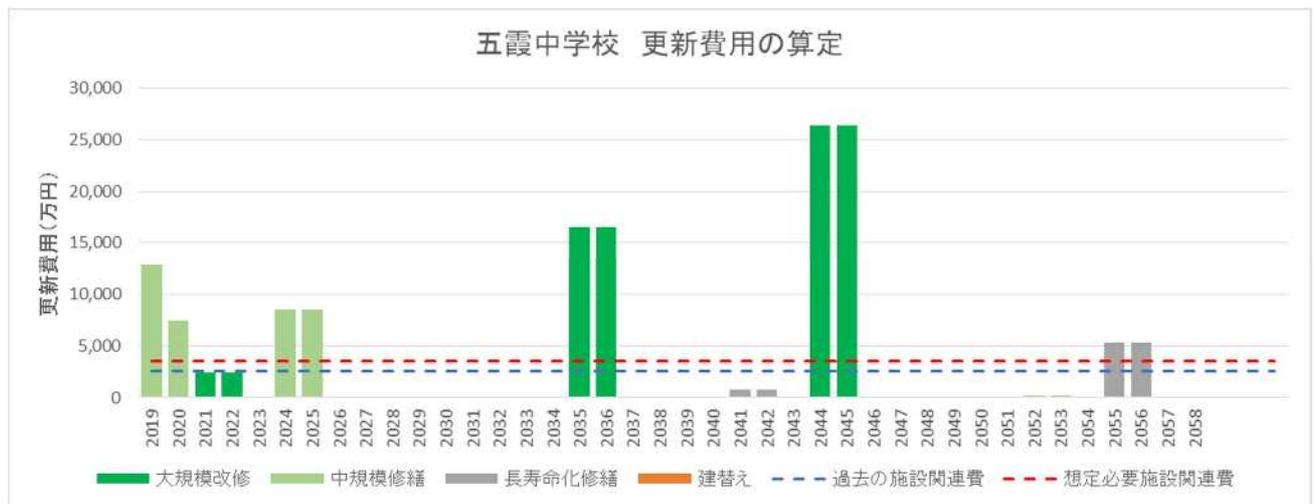
- 2018年: 設計検討 (建物外皮の防水補修)
- 2019年: 設計検討 (建物外皮の防水補修)
- 2020年: 中規模修繕 (建物外皮の防水補修)
- 2018年: 中学校の劣化度調査 (統廃合の検討)
- 2019年: 統廃合に関する検討 (統廃合の検討)
- 2020年: 統廃合に関する検討 (統廃合の検討)

建替え中心から、改修による長寿命化に切り替えていく為には、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

五霞町プランでは、中学校は比較的新しい教育施設として、長期にわたり重要な役割を担うことが期待されています。

表 27 計画期間中の改修・修繕予定

	中規模修繕	大規模改修	長寿命化修繕	建替え
普通教室棟	2024-	2044-	なし	なし
特別教室棟	2019-	なし	なし	2032- (小学校と集約)
屋内運動場	2019-	2035-	なし	なし
柔剣道場	2019-	なし	なし	2032- (小学校と集約)



総合管理計画における施設整備案と本計画内容との比較

	本計画		総合管理計画（五霞町プラン）	
1. 役場庁舎	建替え	2021	同	
2. 消防分団詰所	中規模修繕	2019	大規模改修	2029
	建替え	2029	長寿命化修繕	2049
3. 地域安全センター	中規模修繕	2020	同	
	大規模改修	2041		
4. 中央公民館	建替え	2021	同	
5. ふれあいセンター	大規模改修	2030	同	
	長寿命化修繕	2050		
6. 堀之内集会所	建替え	2027	大規模改修	2027
	中規模修繕	2047	長寿命化修繕	2047
7. 五霞東小学校	未定		統合	2032
8. 五霞西小学校	未定		中規模修繕	2022
			統合	2032
9. 五霞中学校	中規模修繕	2024	同	
	大規模改修	2044		
	一部統合	2032		
10. B & G海洋センター	中規模修繕	2019	中規模修繕	2019
	未定	未定	統合	2039
11. 保健センター ・介護予防センター	中規模修繕	2019	中規模修繕	2019
	大規模改修	2039	統合	2039
12. ごか西児童館 ・ごか南児童館	中規模修繕(西)	2019	中規模修繕	2019
	統合	未定	統合	2039
13. ひばりの里	廃止	2020	中規模修繕	2019
			統合	2039
14. 多目的集会センター	統合	2032	大規模改修	2032
			長寿命化修繕	2052
15. 道の駅ごか	大規模改修	2024	中規模修繕	2024
	未定	未定	大規模改修	2044

学校統廃合の検討を進めるに当たっての考え方

【フェーズⅠ 事前準備段階】	【フェーズⅡ 学校統合の可否について検討】	【フェーズⅢ 学校統合に向けての作業】
<p>1 課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校統廃合に関する情報収集 ■ 上位計画(国・県含む)との整合 ■ 町の人口予測 <p>2 先進地視察 河内町視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 統合に至った経緯の確認 ■ 統合規模 (小学校○校、中学校○校) <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">(小学校○校、中学校○校)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">PTA役員向け教育懇談会開催</div>	<p>1 検討組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 町立学校あり方検討会(仮称)の立ち上げ <input type="checkbox"/> 小中学校の現状と見通し <input type="checkbox"/> 義務教育施設の適正規模・適正配置に関する町民意向調査 <input type="checkbox"/> 義務教育施設の適正配置の検討 <input type="checkbox"/> 統廃合の意思決定 	<p>1 検討組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 統合準備委員会の立ち上げ <input type="checkbox"/> 義務教育施設適正配置計画の検討 <input type="checkbox"/> 計画書・概要版の作成 <input type="checkbox"/> 統合にあたっての具体的な解決策の検討 <p>2 説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 住民説明会 <input type="checkbox"/> 保護者説明会